ろ～20年6月ごろ、60億円以上の被害を出した特殊詐欺グループの幹部とされる。今年2月に日本に移送され、その後に特殊詐欺の窃盗容疑で4回、逮捕・起訴された。

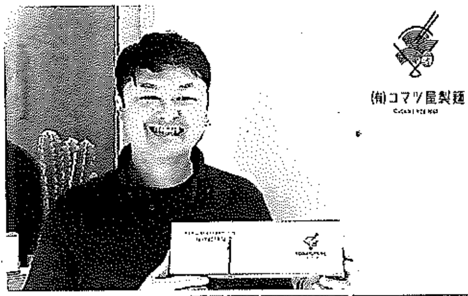
グループ幹部が強盗容疑で逮捕されるのは初めて。22年5月～23年1月には、闇バイトで集められたとみられる人物の強盗事件などが日本各地で起きていた。警視庁、京都府警、山口、広島、千葉の各県警は14日付で合同捜査本部を設置し、これら事件との関連についての捜査も本格化させる。

捜査1課によると、今村容疑者はSNSで集めた20～40代の男女3人＝いずれも強盗罪で起訴＝らと共謀。22年5月2日

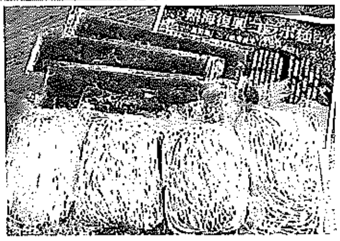
ハンマーを振り上げるな　（計約6900万円相当）　11～13日、時計の換金分　者が　ルフィ」を名乗　・プレスが配信した＝AP　この日、海底から引き　（ニューヨーク＝遠田寛生）

熱海の復興 麺とともに

土石流で被災の製麺所 再建しご当地グルメ



再建した製麺所で熱海復興麺を開発した中島秀人さん＝14日、静岡県熱海市


ふるさと納税に出品されている熱海復興麺＝コマツ屋製麺提供

「頑張る姿見せ 風化防ぎたい」

2021年7月に静岡県熱海市で発生した大規模土石流で被災した老舗の製麺所が地元の店舗と連携し、「熱海復興麺」を開発した。商品は市のふるさと納税の返礼品にも出品。製麺所の代表は「頑張る被災地の姿をみせ、土石流の風化を防ぎたい」と話す。

同市伊豆山で約80年続く「コマツ屋製麺」の自宅兼工場は土石流にのみこまれ、製麺機や大型冷蔵庫などが被害を受けた。工場は、3代目の中島秀人さん(54)と妻、義母らで切り盛りし、俳優の故・高倉健さんも通ったラーメン店などに麺を卸してきたが、稼働できなくなった。

被災後、20代のころに修業した東京都内の製麺所の社長から支援の申し出があった。取引先からも「再開するまで待っている」と温かい言葉をもらい、中島さんは「前をむくことができた」と言う。

工場はいまも立ち入り禁止の警戒区域内にあるが、クラウドファンディングで募った資金約900万円を活用して、約4・5㌔離れた同市上多賀に新工場を再建。事業を再開した。ただ、生産能力は3分の1ほどになった。

そんななか、中島さんは「伊豆山の復興を盛り上げる新たなご当地グルメをつくりたい」と思い立った。市内外で店舗を展開する中華料理店「熱海美虎本店」に働きかけて試行錯誤。被災したカツオ節店の魚粉を練り込んだ特注の中華麺などを使った「熱海復興麺」を昨年11月に完成させた。「ふるさと納税にして復興への機運を盛り上げられないか」。市に熱意を伝えると、返礼品として出品されることになった。

熱海土石流では災害関連死を含む28人が亡くなり、いまだに200人以上が市内外に避難している。市の復興計画検討委員会の委員も務める中島さんは被災者には高齢者が多く、風化が進む中、自力復興の難しさを感じている。

最近は市内の他の店ともコラボ。「熱海復興夜鳴きら～めん」の提供も始まった。「市内の様々な店に『復興麺』が広がり、伊豆山以外の方々にも復興について考えてもらえれば」と中島さんは言う。（黒田壮吉）

電車内で刃物 相次ぐパニック

料理人が包丁落とす→「刃物振り回している」→叫び逃げる人々

電車内で、料理人らが持ち運んでいた包丁を「凶器」だと勘違いした乗客が混乱に陥り、電車の運行にも支障をきたすケースが相次いでいる。なぜ人々は、パニックとなったのか。

人々がパニックとなったJR山手線の車内＝25日、読者提供

山手線 人が次々と

「キャー」。25日午後4時ごろ。JR山手線に乗っていた自営業の女性(33)が新宿駅で下車する直前だった。

好きなアイドルグループの新曲が流れるイヤホン越しに叫び声が聞こえ、隣の車両から人々がなだれ込んできた。

その様子を見て逃げようとする人、力ずくでドアを開けようとする人、泣き叫ぶ子ども……。「何かヤバイことが起きているみたいだ」。とっさに、女性の脳裏にも「刃物」「放火」「爆弾」といったキーワードがよぎった。

逃げて下車した後で、車内に放火されたようだ、などと話している人もいた。「パニックになっている人たちが一番怖かった」

警視庁新宿署によると、駅員から「山手線の車内で刃物を振り回している人がいる」と110番通報があり、警察官が現場で刃物を持っていた男性から事情を聴くと、自身を「料理人」だと話した。当時、布巾で覆われた包丁2本を手に持って乗車していたがうたた寝をし、包丁を落とし、布巾から刃の部分が見えるようになっていたと説明した。男性が「刃物を振り回している」事実は確認されなかった。東京消防庁によると、この騒動で、転倒するなどして20代と50代の男性2人が軽傷を負ったほか、山手線を含む計14本に最大約19分の遅れが出た。

19日にも、福岡市の市営地下鉄で同様のトラブルが起きた。警察官がさすまたを持って出動したが、料理人の男性がバッグに仕事用の包丁を数本入れて所持していただけと判明。昨年8月には東京都大田区で、京急空港線車内です し職人の男性が包丁3本を床に落とし、乗客が逃げ惑う事態に。

3条件が重なると

新潟青陵大学大学院の碓井真史教授（社会心理学）は、東海道新幹線で発生した3人殺傷事件や、京王線での切りつけ事件などを念頭に、「いつ自分が襲われるかわからないと感じている人が増えているのではないか」と話す。

パニックは、①身の危険がある②助かる方法がある③ただし、それは早い者勝ち――という条件が重なり、起きるという。さらに悲鳴を上げるなど、誰かの行動が「きっかけ」となることが多いという。「落ち着いて、その場でリーダーシップを発揮できる人が『大丈夫です』と大声で呼びかけるだけで、状況は変わるはずだ」

列車では梱包必要

在来線や私鉄を含むすべての列車では、梱包されていない刃物の持ち込みが禁止されている。東海道新幹線の3人殺傷事件を受けた国土交通省の措置で、刃先をケースに収納するなどして、「直ちに取り出して使用できないような状態にしておくことが必要」とされている。

日本調理師会の戸塚雄三会長(81)は、相次いだ電車内でのトラブルについて「自分がケガをする可能性もある上に、道具を大事にすべき調理師としての自覚も足りず、言語道断だ」と語気を強めた。

戸塚会長は、千葉市内で飲食店を営み、この道50年以上になるが、電車内に包丁を持ち込んだことはないという。

料理人が包丁を持ち運ぶ際は、専用のケースに入れて鍵をかけるのが一般的だとして「包丁をさらしに巻いてそのまま持ち運ぶのは、物語の世界だ」と苦言を呈した。（三井新、中野浩至）

朝日エンディショップの通信販売 シリーズ累計143万台※販売！オムロン補聴器イヤメイ